











倒木したシンボルツリーけやき活用プロジェクト②



美谷本小開校以来、152年の歴史とともに歩ん できた本校シンボルツリーの「けやき」は、令和 6年7月24日に発生した落雷を伴った突風の影響 により、倒れてしまいました。



「倒木したけやきを活用し、後世に残してもら いたい」という地域の声が多くあがりました。



けやき活用プロジェクト®(R6)では、予算0 でできること(輪切りコースター、けやきふれあ い階段)を行いました。



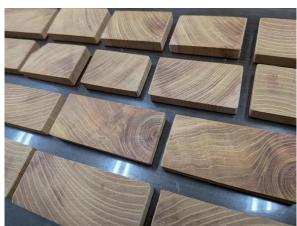
プロジェクト① (R7)では、クラファン資金を 活用し、子供たちがPBLでけやきを活用して考え たことを実現できる取組(けやきキーホルダー けやきモルックづくり)を行っています。



倒木けやき材は、多く残っており、その活用を 今後も進めていきたいと考えています。

倒木したシンボルツリーけやき活用プロジェクト②







そこでプロジェクト②では・・・・・

倒木けやき材にレーザー彫刻機で刻印し、けやきの新た な活用を探っていきます。(テクノロジー×インクルー シブ教育)

- ●倒木けやき材にレーザー彫刻を施す活動に、多様な背景をもつすべての児童が関わり、互いを認め合いながら、共に学びを深めるというインクルーシブ教育や交流教育の視点を取り入れます。
- ・捨てればゴミとなってしまうものをテクノロジーと融合したものづくりの視点をもち、「新たな価値」の創造を経験させていきます。
- ・レーザー彫刻機を中心にして、共に学んでいく活動をします。 (特別支援学校との 支援席学習、幼保小交流や地域のお年寄りとの交流の際のプレゼントづくり等)
- ●必要経費の概算金額
- ・簡易レーザー彫刻機8台(5万円×8)※4人で一台を活用し、授業で使用
- ●留意事項要件について
- ①子供たちが主となってけやき材の活用を考え、創造していく部分が多分にある 「脱・予定調和」である。
- ②子供が協力してつくりだしていく「脱・教師主導」である。 戸田市立美谷本小学校





けやき × テクノロジー × インクル・交流 美谷本小の未来づくりを行う 新たなプロジェクトをスタート